

はじめに

狭い国土の有効利用と

雨水の流出を抑制し、

地震・浸水災害に強い安全安心な街づくりへ

(財)土木研究センター・技術審査証明取得



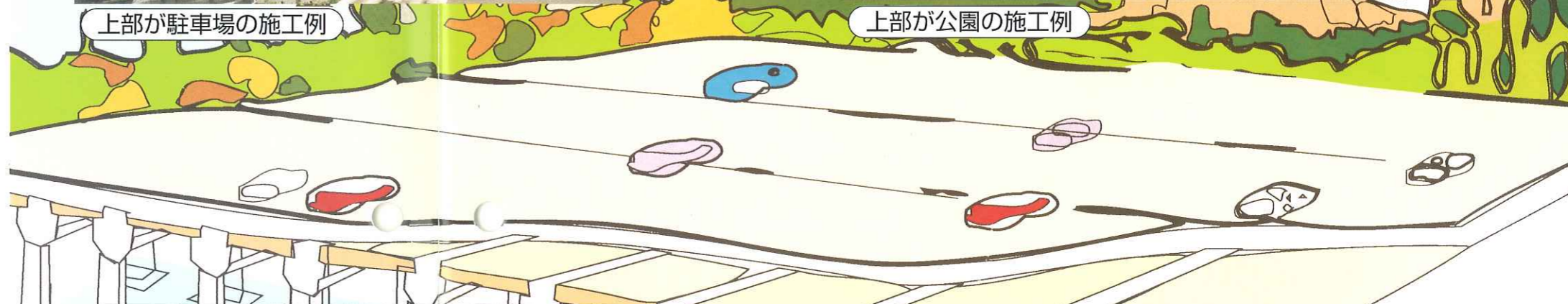
上部が駐車場の施工例



上部が公園の施工例

特長

1. 梁・柱・壁などプレキャスト7部材を4.5mのスパンで組み合わせることにより、任意の計画貯留量・敷地形状の耐震性雨水貯溜槽が設計・施工可能である。
2. 梁・柱接合部はPC圧着構造で、設計値以上の強度を有し工期短縮が図れる。
3. 内部が柱・梁構造であるため、貯溜空間が大きく取れ見通しがよくまた底盤がフラットなので車輦による清掃・点検等の維持管理が可能である。
4. 現場打ちコンクリート工法と比べ工期を2/3程度に短縮できる。
5. 一般的な油圧ジャッキでプレキャスト部材の組み立てが可能である。
6. 用途によって全てプレキャスト部材で構築できるボックスカルバートタイプも選択できる。



PC雨水貯溜槽アグア

施工例

長野県 長野市 (8,100m³)



組立完成状況



組立作業状況

山梨県 富士吉田市 (8,000m³)



組立作業状況



組立完成状況

長野県 佐久市 (9,000m³)



組立作業状況



組立完成状況

埼玉県 さいたま市 (970m³)



柱・梁据付け状況



頂版スラブ据付け状況



壁据付け状況

長野県 佐久市 (2,500m³)



組立作業状況



コーナー壁据付け状況

大阪府 吹田市 (1,080m³)



梁据付け状況

千葉県 八千代市 (3,800m³)



組立作業状況



内部状況

神奈川県 横浜市 (3,510m³)



梁据付け状況



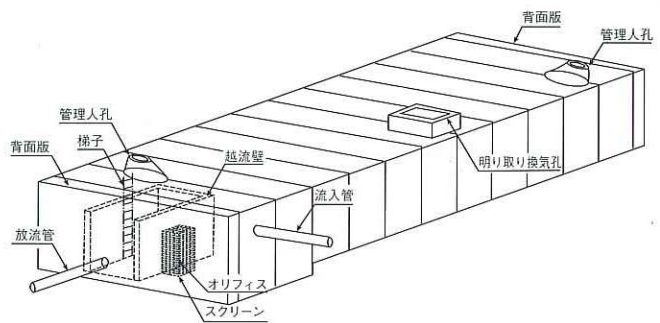
頂版スラブ据付け状況

小規模貯溜に適したボックスカルバートタイプ

ボックスカルバートタイプは2000m³以下の貯溜槽に最適です。

構造

PCボックスカルバートを用い、両端を塞ぐ背面版を、PC鋼材による縦締め工法にて緊結して、貯溜槽として設計・製造・施工の合理化を図っている。



特長

- ① 衝撃、繰り返し荷重に対する抵抗性に優れ、ひびわれが発生しない構造体である。
- ② 鉄筋コンクリート構造と比較して薄肉構造である。
- ③ 施工性に優れ、工期短縮による経費、人件費の節減、掘削土量の減少など経済効果が高い。
- ④ 縦締め工法を行うことによって、製品化した場合の弱点である接合部の水漏れ、不同沈下を防止できる。

オリフィス：流出量調整孔口
 スクリーン：塵避け金物でオリフィスの前面に設ける。
 越流堰：有効貯溜量以上の雨水をオーバーフローさせる堰。

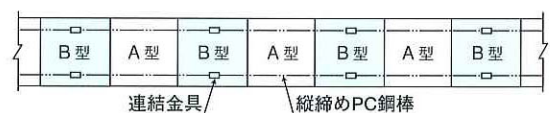
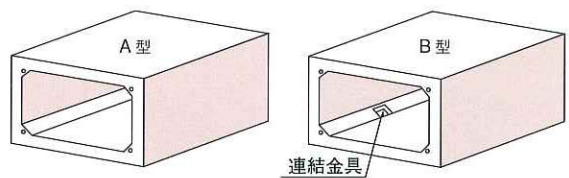
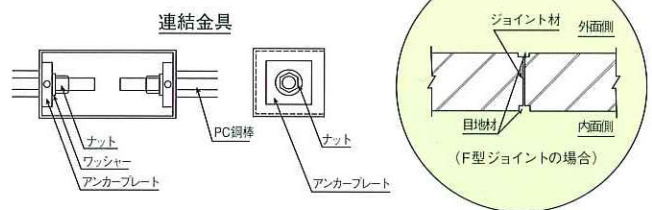
製品

(1) ボックスカルバート

本体をなすもので、縦締めを行うために、縦締め用連結金具を設ける製品ブロック（B型）と、設けない製品ブロック（A型）がある。

(2) 背面版

両端を塞いで、貯溜槽を構成する製品。



施工例 1



2連式ボックスカルバートタイプ

施工例 2



施工例 3

2連上下2分割ボックスカルバートタイプ



施工例 4

3連式ボックスカルバートタイプ



施工例 5

大型上下2分割ボックスカルバートタイプ

